

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-61	小学校	道徳	道徳	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳405	道徳 4 きみがいちばんひかるとき		

1. 編修の基本方針

主体的・対話的な学びから、 児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育みます

人格の完成を目指すところとする教育基本法に基づき、これからの中学校には、一人一人の児童が、

- ・自分のよさや可能性を認める
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- ・多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- ・豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようになります。私たち、これらの実現を目指して、3つの方針に則って教科書を編修しました。

1 成長に寄り添う教科書

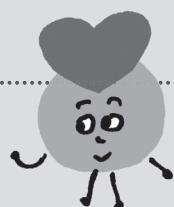
児童の1年間の成長と、学校生活の流れに沿った年間構成としました。年間を3つのまとまりに分け、まとまりごとに、児童が自身の成長を実感でき、自己肯定感を高めることができるよう工夫しました。

2 学びを支える教科書

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが、児童に見える教材構成としました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へつなげられるようにしました。

3 課題と向き合う心を養う教科書

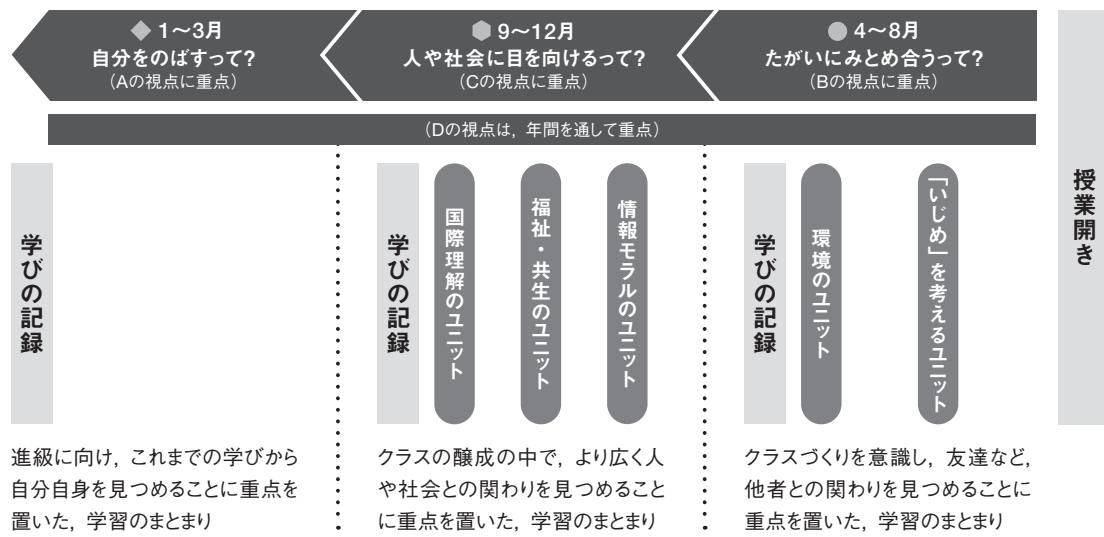
現代的な課題と道徳の学びを結び付けることで、児童が課題と向き合い、自分のこととして考えたり、多面的・多角的に自分の生き方について考えを深めたりできるようにしました。



1 成長に寄り添う教科書

年間構成の工夫

- 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間を3つのまとまりに分けました。
- まとまりごとに、それぞれBの視点、Cの視点、Aの視点に重点を置く構成としました。Dの視点については、年間を通して重点と捉え、随所に教材を配しました。
- まとまりごとに扉を設けることでメリハリをつけ、児童が新鮮な気持ちで道徳の学習に臨めるよう配慮しました。



道徳の授業開き

学年の冒頭に、授業開き（上図参照）として「道徳の時間」を設けました。

- 初めの見開き（p.4-5）では、道徳の授業は、教材をきっかけに、読んだり、演じたり、書いたりする活動に取り組みながら、児童が主体的に考え、話し合う時間であることを示しています。
- 次の見開き（p.6-7）では、道徳の学びが、自分から他者へ、さらには社会、そして生命や自然へと、全てを取り巻く広がりをもっていることを視覚的にイメージできるようにしました。これからの学習に対する見通しがもてるよう配慮しています。



2 学びを支える教科書

教材構成の工夫

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが児童に見える教材構成としました。また、てびき「考え方・話し合おう」では、児童が主体的・対話的な学びを深められるような3つの問い合わせ用意しました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へつなげられるよう、「つなげよう」を設けました。

他教科の学びや
日々の生活へ

めあてを確認し、問い合わせを深める

導入

p.50-53 ⑩「みんな、待っているよ」

他教科の学びや日々の生活へ

めあてを確認し、問い合わせを深める

導入

考え方・話し合おう

つなげよう

わたしの大好きなクラス

他教科の学びや日々の生活へ

キャラクターの呼びかけによって、1時間の道徳の時間の学びが、次の行動につながるようにしました。他教科の学習内容との関連付け、特別活動との関連付け、関連する内容をもつ図書の紹介、日常生活への意識づけなどを通して、計画的、発展的な学習ができるように配慮しました。

めあてを確認し、問い合わせを深める

児童が、教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識することができるよう、学びのめあてを太字で示しました。また、めあてに沿って、次のように発問を構成しました。

- ①教材の内容について、児童が同じ共通理解に立つための問い合わせ
- ②道徳的価値に迫るための中心的な問い合わせ
- ③道徳的価値を自分や日々の生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする問い合わせ

特に考えてほしい中心となる問い合わせには、(●) (二重丸) を付しました。

導入

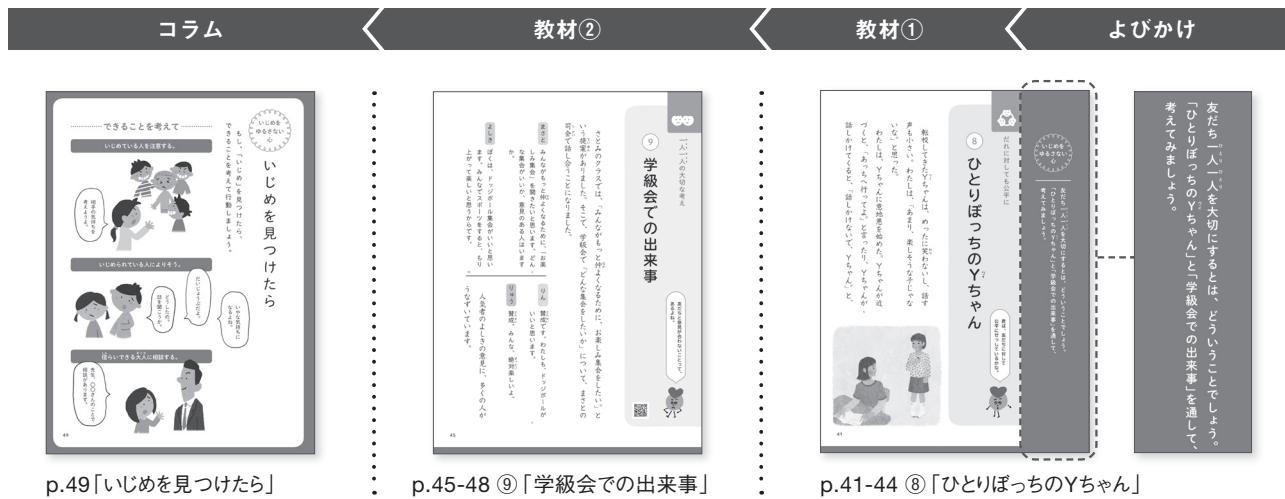
キャラクターが問い合わせることで、児童が無理なく学習に入ることができるよう工夫しました。児童と、教材を通して考える道徳的価値とを結び付ける役割を果たします。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題を取り上げた「ユニット」の工夫

教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を、年間に5種類設けました(P.2上図参照)。コラムには、現代的な課題とともに持続可能な発展について考えられる話題を取り上げ、「ユニット」を通して、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。

[例 「いじめ」を考えるユニット]



p.49「いじめを見つけたら」

p.45-48 ⑨「学級会での出来事」

p.41-44 ⑧「ひとりぼっちのYちゃん」

「ひとりぼっちの人」、「Yちゃん」と「学級会での出来事」を通して、

「友だち」一人一人を大切にすることは、どういうことでしょう。

考えてみましょう。



全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

・B5判を左右に10ミリ広げ、綴じ方を工夫することで、文字や挿絵を大きく示しました。持ち運びやすいサイズで、児童の負担を最小限におさえます。

[文字について]

・文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。

・文字の書体は、本文は原則として書き文字に近い教科書体活字を用いました。

[表記について]

・第2~6学年について、当該学年の配当漢字には全て振り仮名を付しました。

・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切り]

・文章は、必ず文節で改行するようにし、児童の読みのつまずきを軽減しました。

・てびきの問い合わせは、意味のまとめで改行するようにし、児童が問われていることの意味をつかみやすいようにしました。

2. 対照表

[第4学年]

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
	道徳の時間	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができるようなページを設けた。	第一号、第二号	4-7
	6 目覚まし時計			30-33
	28 花さき山			148-155
	31 「まあ、いいか。」			163-167
	33 ブラッドレーのせい求書			174-177
	1 世界に一つだけの花	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。		10-12
	27 より遠くへ			136-141
	30 みんなちがって、みんないい			160-162
	4 絵はがき切手			23-26
	5 言わなきや			27-29
	14 「正直」五十円分			75-79
	16 スーパーモンスターカード			88-91
	29 梨の実——アンリ＝ファーブル			156-159
	10 みんな、待っているよ			50-53
	13 わたしたちの校歌			70-74
	20 弟のふろ入れ			108-110
	22 思いやりのかたち			114-117
	24 琵琶湖のごみ拾い			124-127
教材	34 神戸のふっこうは、ぼくらの手で			178-181
	35 朝がくると			182-185
	2 土曜日の学校			13-16
	3 「思いやり」って			18-21
	8 ひとりぼっちのYちゃん			41-44
	9 学級会での出来事			45-48
	15 泣いた赤おに			80-87
	17 つまらなかった			92-95
	21 ちょっと待ってよ			111-113
	23 雨のバスていりゅう所で			120-123
	7 生きているしるし			36-40
	11 いのちをつなぐ岬			54-60
	12 このままにしていたら			61-63
	19 生き物と機械			104-107
特設ページ	32 おじいちゃんの ごくらく ごくらく			168-173
	18 ぼくたちのバラ花だん	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。		98-101
	25 祭りだいこ			128-131
	26 わたしの大切なもの			132-135
	〈心を通わそう〉 相手のことを思いやって声をかけてみよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	34-35
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	102-103
	学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	66-68、 144-146、 186-188
特設ページ	〈付録〉相手の気持ちによりそおう!	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとできる内容を付録として設けた。	第一号	189
	〈付録〉日本に伝わる「祭り」	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	190-191

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-61	小学校	道徳	道徳	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳405	道徳 4 きみがいちばんひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 考えたくなる、語りたくなる授業を実現するために

新学習指導要領では、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が掲げられています。

社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる児童が育てられるよう、私たちは、道徳の授業を通じて生きて働く道徳性の育成ができる教科書を目指しました。

心を捉える多様な教材群

児童が、道徳的な問題について「考えたくなる」、友達と「語り合いたくなる」、自ら「行動したくなる」多様な教材を開発しました。中学年の児童は、さまざまにことに興味・関心が広がってきます。また、友達どうしの交流が活発になり仲間意識も高まってきます。その特性を捉え、子どもの心にストレートに飛び込む読み物教材、視角的に子どもの興味を引く漫画形式の教材、見開きの一枚絵から考える教材など、多様な教材を取り上げました。



p.54-60 ⑪「いのちをつなぐ岬」



p.132-135 ⑫「わたしの大切なもの」



p.148-155 ⑬「花さき山」



p.163-167 ⑭「まあ、いいか。」

問題解決的な学習——道徳的な価値に基づき、問題を解決していく力を

児童が、道徳的な判断を問われる場面に出会ったとき、その問題を自分との関わりで見つめ、道徳的な価値に根差した判断をし、解決していく力を育てるよう、教材を構成しました。てびき「考えよう・話し合おう」で問題解決的な考えを促す問いを配したり、葛藤場面や判断を求められる場面を取り立てて示した教材を用意したりしています。



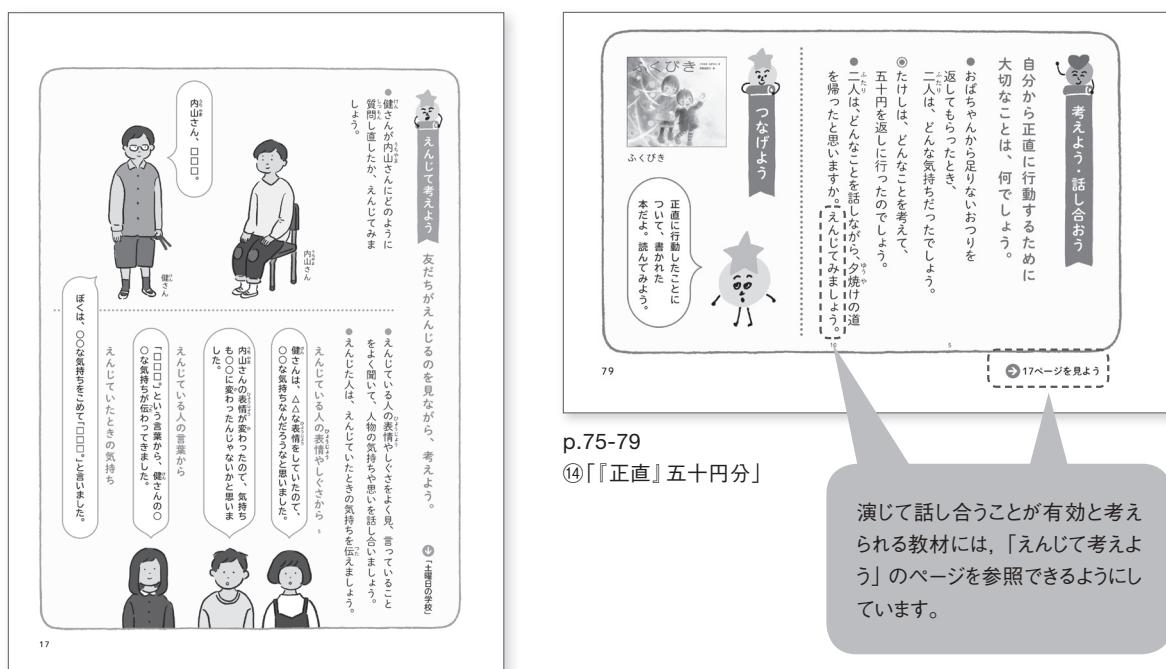
p.111-113 ②「ちょっと待ってよ」

p.45-48 ⑨「学級会での出来事」

体験的な学習——「えんじて考え方」(役割演技)

児童が、実感をもって道徳的価値について考えが深められるよう、「えんじて考え方」を設けるとともに、随所に「えんじてみましょう。」という学習活動や、「ふきだしの中に入る言葉を考えましょう。」などの問い合わせを用意しました。

役割演技は、演技することが目的ではなく、その後の話し合いが大切であることがわかるよう、丁寧に示しました。



p.17「えんじて考え方」

演じて話し合うことが有効と考えられる教材には、「えんじて考え方」のページを参照できるようにしています。

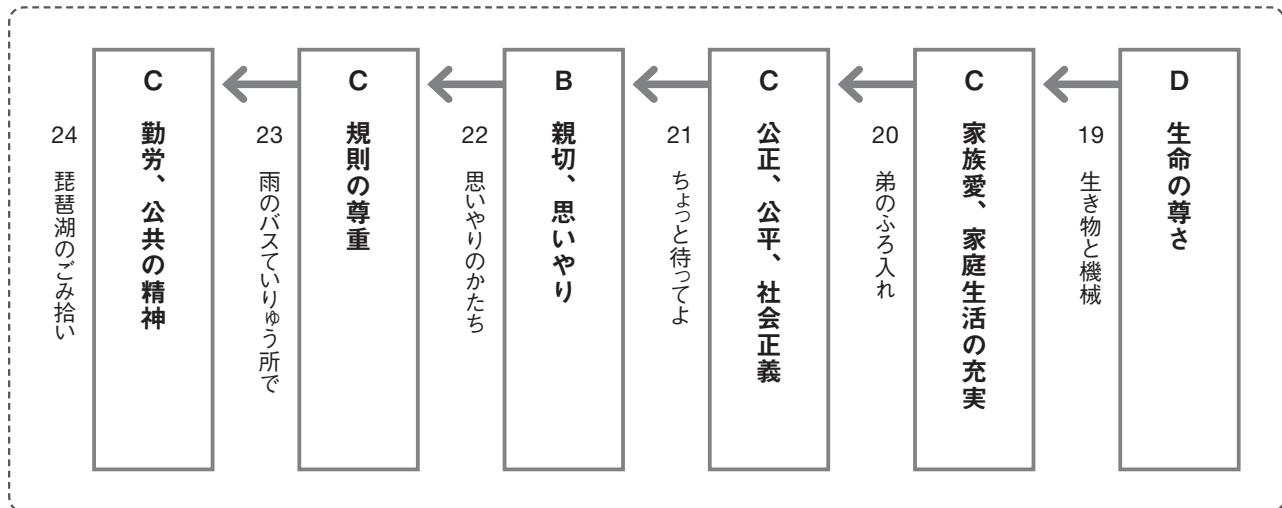
2 確かな道徳性を育むために

道徳科では、道徳教育の要としての役割を果たし、確かな道徳性を育むことが求められています。効果的な指導と、指導と一体になった評価を行っていくために、教科書で何ができるのかを追求しました。

道徳性の育成に配慮した教材配列

1時間1時間の学びが、児童の考えの深まりをより促せるよう、内容項目の関連に配慮した順序を意識して、教材を配列しました。

例えば、4年の第19教材から第24教材は、下のようになっています。ここでは、Cに重点をかけた「人と社会に目を向けるって？」というまとめの中で、特に「命を大切にしながら、共に生きることについて考える」を意図しています。命の大切さについて考えたうえで、その命を大切にしながら生きていくために、家族に対する思いを振り返り、公正、公平に、思いやりをもって他者に接し、規則を守りながら、公共の精神を培い、共に生きていくことについて考えを深めていくという学びの流れを構築しました。



クラスづくりに——「心を通わそう」

新学年になって2か月を過ごし、児童がようやく新しい学年やクラスに慣れてきた5月の終わりに、「心を通わそう」を配しました。(1年は6月の終わり、2~6年は5月の終わり。)

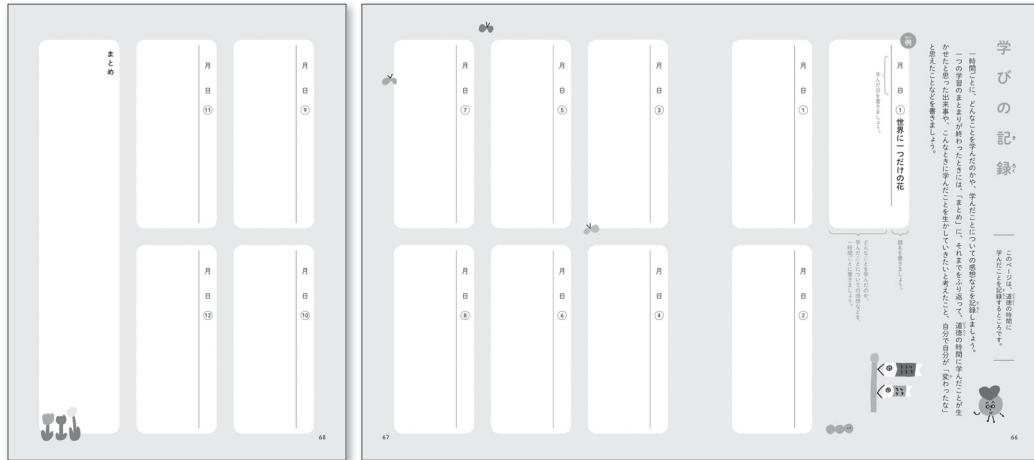
お互いを認め合えるクラスの醸成は、道徳の授業のみならず、児童が学校生活を送るうえで重要な要素です。この時期に、クラスの中でよりよい関係性を築けるような活動に取り組むことで、信頼して話し合える道徳の授業づくりを促します。



p.34-35心を通わそう「相手のことを思いやって声をかけてみよう」

児童の振り返りの場——「学びの記録」

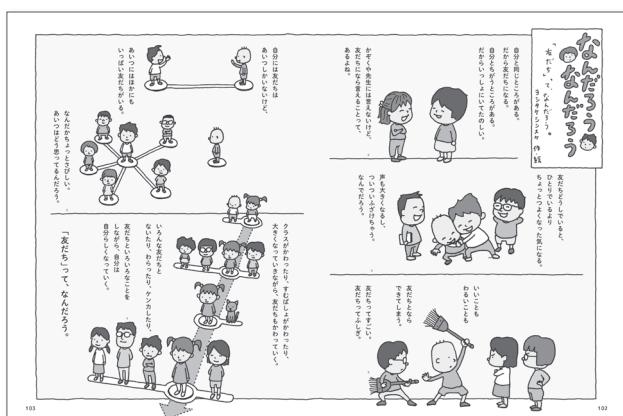
「学習のまとめ」の区切り目の3か所に、「学びの記録」を設けました。児童が、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「学習のまとめ」の区切りごとに、そこまでの自分の学びの変化や成長をいつでも振り返ることができるよう構成しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取ることも可能です。



p.66-68 「学びの記録」

考えることを楽しむ——「なんだろう なんだろう」

全学年に、1年「『がっこう』って、なんだろう」、2年「じぶんらしい『たのしい』って、なんだろう」、3年「『うそ』ってなんだろう」、4年「『友だち』ってなんだろう」、5年「生きる『しあわせ』ってなんだろう」、6年「『自分』ってなんだろう」というテーマを設け、それぞれのテーマについて、多面的・多角的に考えられるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として、授業時間以外でも「考えること」を楽しむことができます。



p.102-103 「なんだろう なんだろう」

効果的に活用できるデジタルコンテンツ

児童を引き込む、人気声優による朗読や、授業の導入や展開で活用できるオリジナル写真・動画、教材に関連する情報や写真・動画を見ることができるウェブサイトの紹介など、授業に役立つデジタルコンテンツを用意しました。



p.18-21 ③「『思いやり』って」

2. 対照表

[第 4 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容					該当頁	配当時数	配当学期			
	視点*1				内容項目						
	A	B	C	D							
卷頭詩						表2-1					
道徳の時間						4-7					
たがいにみどめ合うつて?	1 世界に一つだけの花	○			個性の伸長	10-12	1	一学期12時間			
	2 土曜日の学校	○			礼儀	13-17	1				
	3 「思いやり」って	○			親切, 思いやり	18-21	1				
	4 絵はがきと切手	○			友情, 信頼	23-26	1				
	5 言わなきや	○			善悪の判断, 自律, 自由と責任	27-29	1				
	6 目覚まし時計	○			節度, 節制	30-33	1				
	〈心を通わそう〉相手のことを思いやって声をかけてみよう	○			親切, 思いやり	34-35					
	7 生きているるし	*2		○	生命の尊さ	36-40	1				
	8 ひとりぼっちのYちゃん		○		公正, 公平, 社会正義	41-44	1				
	9 学級会での出来事	○			相互理解, 寛容	45-48	1				
	〈コラム〉いじめを見つけたら		○		公正, 公平, 社会正義	49					
	10 みんな, 待っているよ		○		よりよい学校生活, 集団生活の充実	50-53	1				
	11 いのちをつなぐ岬		○		自然愛護	54-60	1				
	12 このままにしていたら		○		規則の尊重	61-63	1				
	〈コラム〉ごみやしげんについて考えよう		○		自然愛護	64-65					
人や社会に目を向けるつて?	13 わたしたちの校歌		○		よりよい学校生活, 集団生活の充実	70-74	1				
	14 「正直」五十円分	○			正直, 誠実	75-79	1				
	15 泣いた赤おに		○		友情, 信頼	80-87	1				
	16 スーパーモンスターカード	○			善悪の判断, 自律, 自由と責任	88-91	1				
	17 つまらなかつた		○		相互理解, 寛容	92-95	1				
	〈コラム〉インターネット上のやり取り		○		相互理解, 寛容	96-97					
	18 ぼくたちのバラ花だん		○		感謝	98-101	1				
	なんだろう なんだろう		○		友情, 信頼	102-103					
	19 生き物と機械		○		生命の尊さ	104-107	1				
	20 弟のふろ入れ		○		家族愛, 家庭生活の充実	108-110	1				
	21 ちょっと待つてよ		○		公正, 公平, 社会正義	111-113	1				
	22 思いやりのかたち	○			親切, 思いやり	114-117	1				
	〈コラム〉見えないしょがいに気づくこと		○		親切, 思いやり	118-119					
	23 雨のバスていりゅう所で		○		規則の尊重	120-123	1				
	24 琵琶湖のごみ拾い		○		勤労, 公共の精神	124-127	1				
	25 祭りだいこ		○		伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	128-131	1				
	26 わたしの大切なもの		○		国際理解, 国際親善	132-135	1				
	27 より遠くへ	○			希望と勇気, 努力と強い意志	136-141	1				
	〈コラム〉オリンピックにこめられた思い		○		国際理解, 国際親善	142-143					
自分をのばすつて?	28 花さき山		○		感動, 畏敬の念	148-155	1				
	29 梨の実——アンリ=ファーブル	○			正直, 誠実	156-159	1				
	30 みんなちがつて, みんないい	○			個性の伸長	160-162	1				
	31 「まあ, いいか。」	○			節度, 節制	163-167	1				
	32 おじいちゃんの ごくらく ごくらく		○		生命の尊さ	168-173	1				
	33 ブラッドレーのせい求書		○		家族愛, 家庭生活の充実	174-177	1				
	34 神戸のふっこうは, ぼくらの手で		○		勤労, 公共の精神	178-181	1				
	35 朝がくると	○			感謝	182-185	1				
〈付録〉相手の気持ちによりそおう!		○			相互理解, 寛容	189		適宜			
〈付録〉日本に伝わる「祭り」		○			伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	190-191					
					合計時数			35			

※1 視点の内容 A:主として自分自身に関すること B:主として人との関わりに関すること C:主として集団や社会との関わりに関すること D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

※2 □ はユニット構成となっていることを示す。